

| 前年度の成果と課題 | 教育目標 | 生命と人権を尊重する人間性豊かな児童の育成 | | 総合評価 | | |
|---|--|--|----|---|---|---|
| コロナ禍においては制限もあったが感染症対策を行いながら教育活動を進めることができた。今後はコロナ禍前の教育活動とコロナ禍中の教育活動を検討しながら進めていかなければならない。 | 運営方針 | できる・わかるを基盤に「子どもたちをつないでいく」授業・活動の展開 | | B | | |
| | 本年度の重点 | (1) 自ら学び考える力を育てるとともに、基礎的・基本的な知識・技能・態度の定着をはかる教科指導。 | | | | |
| | | (2) 人権尊重の精神を内面的、主体的に自覚させ、基本的生活習慣を身に付けさせ規範意識を培う道徳教育。 | | | | |
| | | (3) 一人一人の実態を把握し、児童理解の上に立ち、優しさ・思いやりと厳しさの調和のとれた特別支援教育。 | | | | |
| | | (4) 人権意識に目覚め、くらしの中にある差別に気づき、なかまとともに解決していく意識と実践力を育てる人権教育。 | | | | |
| | | (5) 児童の個性を相互に認め合いそれを発揮し、温かく助け合い励まし合う人間関係の育成を図る生徒指導。 | | | | |
| (6) 内部評価・学校関係者評価を重視し、教育活動の総括・点検・検討を通して、開かれた学校を具現化する学校評価。 | | | | | | |
| 学校経営 | 評価の観点 | | 評価 | 成果と課題（評価の分析） | 次年度への課題と改善策等 | 学校関係者評価 |
| 教育目標 ・ 指導の重点 | 児童や地域の実態に即した学校教育目標が立てられている。 | | B | 教育目標や指導の重点を常に意識し、指導に当たること心掛けていく。 さらなる発信により、啓発が必要だ。 日々の教育活動に自然と意識付けされている。 年間授業時数の確保のため各担任が日々意識し授業を行っている。 5類に移行後、少しずつではあるが、授業中にペア学習やグループ学習を取り入れている。 | 「生命と人権を尊重する人間性豊かな児童の育成」という教育目標のもと、全職員が意思統一し、どのような子どもを育てていきたいかという方向性は明確になっている。さらに、教育目標を達成するために、子ども一人ひとりの指導を細やかに、全体的な視野をもって学校運営に携わるように職員のスキルアップを継続して目指していく。 | ○「めざす学校像」にある、地域との関わりについて、地域の方々協力もあり連携がとれている。 ○子どもの学習面においては各家庭、熱心なところが多く良いと思われる。 ○家庭科の裁縫や調理実習、学校環境整備の草刈り等ボランティアスタッフを募ることはとても良い取組だと思う。 ○話を聴く、話す態度は日頃の指導の賜物で、まさしく「めざす子ども像」に当てはまる。 ○健やかに育つ児童たちは「めざす子ども像」、「めざす学校像」の取組として、十分達成できていると思われる。 ○教職員、保護者、地域の関係者から積極的に意見交換が行われている。 ●しっかり挨拶ができ、なかまと支え合い、豊かに表現でき、ねばり強く頑張る力を養うことが大切だと思う。 ●自信をもって挨拶できるような雰囲気を作ることが必要だと思う。 ●コロナ禍後、何が必要でここは改善する方がベストであるということを検討が大切だと考える。 |
| | 教育目標が教職員、保護者に理解されている。 | | B | | | |
| | 教育目標が教育活動を進める上で生かされている。 | | B | | | |
| | 年間授業数の確保と週時程の運営ができていく。 | | B | | | |
| | 自ら学び、自ら考える力を育て、主体的・創造的な学習態度が養われている。 | | B | | | |
| 学校運営 ・ 組織 | 職員会議や研修で決定された内容が、学校運営や各学年・学級の教育活動に十分に反映されている。 | | B | 決定事項を全職員が共通理解のもと教育活動が進められたが、細部の共通理解を確認するのは難しい現状がある。 引き続き報告・連絡・相談の徹底をしていくことが重要。 校務分掌の仕事に差が生じている。 必要に応じて校内の各委員会や部会等をひらくことができていく。 保護者負担を考慮した教材選びを行い、効率的に会計処理が行われている。 | 今年度は新型コロナウイルス感染症が5類となり今後の学校運営においてはコロナ禍前の取り組みも再開し、さらに工夫した学校運営を行っていかなくてはならないと考える。また、働き方改革の実現のためにも会議や話し合いの持ち方の工夫、行事の精選を行い、限られた勤務時間の有効な使い方を意識し、授業の準備や児童に寄り添う時間をできるだけ多く取れるように工夫を行う。また、自己研鑽の時間を取り、教育公務員としての教師力の向上を心掛ける環境づくりに努めなければならない。 | ●保護者の方に教育を理解していただき学校運営に協力していただけるように伝えることが大切だと思う。 ●学校像として「地域社会と共に開かれた学校づくり」を希望したい。 ●人間性豊かな児童の育成をお願いしたい。 ●トイレを綺麗にリニューアルしてほしい。 ●コロナ禍前の行事がもってきてほしい。 ●配布されるプリント等の紙質がよくなればと思っている。 ○地域に根ざした開かれた学校だと思う。 ○先生方の温かさが伝わってくる。 ○明るく先生と子どもの距離が近いように思う。 ○子どもたちが元気にのびのびと成長している。 ○全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○保健便りや給食便りが読みやすく役にたつ。 |
| | 各学年・学級間相互の連絡が円滑であるとともに、互いの特色や独自性も尊重した学校運営が行われている。 | | B | | | |
| | 職員の適材適所を配慮して校務が分掌され、職員の意欲を引き出した学校運営が行われている。 | | B | | | |
| | 校内の各委員会や部会等が、計画的に開かれ、有機的に機能している。 | | B | | | |
| | 予算の編成・執行の方法や手続きなどが適正かつ効率的に行われている。 | | B | | | |
| 施設・設備 | 様々な教育活動の場において、施設・設備が有効に活用されている。 | | B | ICT機器のさらなる充実が求められる。 職員で分担し、月に1回安全点検を行った。 年度初めに特別教室を週配当し、学習内容に応じて、計画的、効果的に活用できた。 | 本校も開校から36年目を迎え、だんだんと校舎全体に老朽化が進んでいる。そのため、修理や改善が必要なところは市当局に相談依頼しながら、環境整備に取り組んでいる。 | ●トイレを綺麗にリニューアルしてほしい。 ●コロナ禍前の行事がもってきてほしい。 ●配布されるプリント等の紙質がよくなればと思っている。 ○地域に根ざした開かれた学校だと思う。 ○先生方の温かさが伝わってくる。 ○明るく先生と子どもの距離が近いように思う。 ○子どもたちが元気にのびのびと成長している。 ○全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○保健便りや給食便りが読みやすく役にたつ。 |
| | 施設・設備の点検を定期的に行い、安全が確保されている。 | | B | | | |
| | 様々な学習の機会等に、図書室をはじめ特別教室などが有効に活用されている。 | | B | | | |
| 教材・教具 | 教材・教具の整備、管理が行き届き、教育活動に効果的に活用されている。 | | B | 教材・教具を点検し使用できる教材教具を有効利用していく。 学習内容に沿った副教材を熟慮し、日々の学習に生かすことができた。 | 教材教具については、常に点検を行い、次に使うことを考えて片付けや整理整頓を心がけているが、教材の老朽化などにより、不足をきたしているものもある。一方で蓄積されたものの精選を行い、使いやすい環境を作る必要がある。 | ●トイレを綺麗にリニューアルしてほしい。 ●コロナ禍前の行事がもってきてほしい。 ●配布されるプリント等の紙質がよくなればと思っている。 ○地域に根ざした開かれた学校だと思う。 ○先生方の温かさが伝わってくる。 ○明るく先生と子どもの距離が近いように思う。 ○子どもたちが元気にのびのびと成長している。 ○全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○保健便りや給食便りが読みやすく役にたつ。 |
| | 保護者負担の副教材や学習帳などの精選を行うとともに、日々の学習に有効に活用されている。 | | B | | | |
| 家庭・地域社会との協力 | 地域や保護者、コミュニティからの意見を学年や分掌で共有し、改善に生かしている。 | | B | 学校運営協議会やコミュニティ推進委員会へ出された意見を、教育活動に反映されるよう努力し、実践できたものもあった。 各種たよりを定期的発行している。 | 学校運営協議会において委員さんから意見をいただき、地域・学校・保護者が協働していくことがさらに必要。また学校からの情報等をさらに発信していかなければならない。 | ●トイレを綺麗にリニューアルしてほしい。 ●コロナ禍前の行事がもってきてほしい。 ●配布されるプリント等の紙質がよくなればと思っている。 ○地域に根ざした開かれた学校だと思う。 ○先生方の温かさが伝わってくる。 ○明るく先生と子どもの距離が近いように思う。 ○子どもたちが元気にのびのびと成長している。 ○全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○保健便りや給食便りが読みやすく役にたつ。 |
| | 様々な通信方法（学年・学級、保健、給食だより、電話等）を通して、学校の教育活動が家庭に伝わっている。 | | B | | | |
| 学習指導 | 各教科の学習指導について、基礎基本を明確にしながら教材の精選、指導方法の工夫が行われている。 | | B | 教科に応じて、各学級だけでなく学年などで相談して教材研究に努めている。 担任を中心に児童の実態を把握し、教育相談等で家庭と協力して指導に当たっている。 学習内容に応じて、学習形態の工夫に努めた。 各教師の指導計画により、学習活動がスムーズに展開されている。 様々なゲストティーチャーを招いての授業も実施することができた。 | 本年度も、国語科の「書くこと」に関して全学級で取り組んでいくことができた。次年度も引き続き継続的にさらに取り組みが深められるように進めていきたい。 | ●トイレを綺麗にリニューアルしてほしい。 ●コロナ禍前の行事がもってきてほしい。 ●配布されるプリント等の紙質がよくなればと思っている。 ○地域に根ざした開かれた学校だと思う。 ○先生方の温かさが伝わってくる。 ○明るく先生と子どもの距離が近いように思う。 ○子どもたちが元気にのびのびと成長している。 ○全体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○保健便りや給食便りが読みやすく役にたつ。 |
| | 児童一人一人の個性や能力に応じた学習指導が、展開されている。 | | B | | | |
| | 問題解決的な学習を組み立てたり、グループによる学習形態を用いたりするなど、指導方法の工夫が図られている。 | | B | | | |
| | 各教科の目標に基づいた指導計画が作成され、それに沿った学習指導が展開されている。 | | B | | | |
| 総合的な学習の時間では、児童・地域の実態を踏まえ、創意工夫を生かした活動が展開されている。 | | B | | | | |

令和五年度 学校評価総括表【Ⅱ】

香芝市立真美ヶ丘西小学校

| 教育活動 | 評価の観点 | 評価 | 成果と課題（評価の分析） | 次年度への課題と改善策等 | 学校関係者評価 |
|--------------|---|----|---|---|--|
| 生徒指導 健康安全 | 生徒指導に対する職員間の共通理解が図られ、全体体制による実践が展開されている。 | B | B 校内のルールや問題点を共通理解し共通実践していく。 登下校については継続的な指導が必要だ。 定期的な教育相談だけでなく、保護者と担任が細やかに連絡を取り合っている。 PTAや学校運営協議会並びにコミュニティ推進委員の方々と連携をさらに深めていきたい。 交通安全教室等体験的なことはしなかったが、オンライン形式での実施であった。 訓練はしているが、実際に起こった際に対処できるか不安な面もある。 地域との連携・協力体制のもと、計画通りに行うことができた。 | 日々の健康観察を家庭とも連携し実施することができた。今後も児童が安心安全な学校生活がおくれるように取組をすすめていきたい。また、学校内での教育相談活動・全体での共通理解や協力体制をさらに充実したもとなるように工夫しスクールカウンセラーの活用等、第3者的立場の方々との連携・協力をさらに進められるようにしていきたい。 | ○しっかり挨拶ができる子が増えている。 ○個人差はあるが挨拶できる子は多い。 ○児童が仲間と支え合う姿や全力でやり抜く姿が見られた。 ○子どもたちは前向きな授業態度である。 ○避難訓練は定期的に実施され、災害時に適切な対応ができる準備が整っているように思う。 ○子どもが楽しそうに毎日通っているので安心できる。 ○相談もしやすくすぐに対応していただける。 ○縦割り班や部団など学年を越えて活動していることが良い。 ○支援級に力を入れ、理解がある。 ○朝読書等の読書環境が整えられている。 |
| | 基本的な生活習慣や集団生活における行動のあり方(マナー)等を身につけるための指導が行われている。 | B | | | |
| | 児童理解に基づいた教育相談が行われている。 | B | | | |
| | 保護者や地域、関係機関との連携が図られている。 | B | | | |
| | 交通安全教室や避難訓練、防犯教室等を実施し、安全に対する児童の意識の向上を図るとともに、緊急時に対応する実践力が培われている。 | B | | | |
| | 不審者対応及び危機管理マニュアル等を作成し、職員間の共通理解のもとに、緊急時の対応に備えられている。 | B | | | |
| | 毎月の交通安全立哨ができています。 | A | | | |
| 道徳教育 | 道徳教育の全体計画を作成し、活用している。 | B | B 道徳科として計画的に進行されている。 ペア学習等対話による学習が十分でなかった。 道徳ノートやワークシートを資料として蓄積することができた。 | 児童同士の意見交流の場を今後、道徳科の授業において取り入れていかなければならない。また、他者理解を深められる授業展開を行っていききたい。 | ○運動会の時期を暑くない時にずらしたのは良かった。 ○低学年と高学年の関わりが強いと感じる。 ○先生方が挨拶を徹底されている。 ●日記や音読の宿題を増やすのが良いのではと感じた。 ●体力が低下していると思われるのでボールを蹴る(サッカー)等を休み時間に禁止するのではなく、ルールを作り規則を守る大切さについても学ばせ身体を使う遊びをあまりに制限しないことも必要だと思う。 ●集団生活からねばり強く頑張り抜くこと、協調性も学ぶことができると思う。 ●たくましさに欠ける児童や対人関係の築き方の苦手な児童、困難に打ち勝つ力の弱い児童が少しずつ増えているように思う。 ●いじめの撲滅、遅刻、不登校児童への対応を引き続きお願いしたい。 ●スマートホンやタブレットの使用時間規制等保護者とよく協議し、保護者への講習会等を積極的に実施していただきたい。 ●地域の方との交流や縦割り班での活動が戻ってほしい。 ●地域で挨拶ができるようになってほしい。 ●掃除をしっかりと、真剣にできるようになってほしい。 ●部団旗を持つことで荷物も多くなり負担になっている。 |
| | 道徳の授業の中で子どもたちが意見交流し、話し合うことができる。 | B | | | |
| | ワークシートや感想、個人の学習状況のメモなど評価のための資料が蓄積されている。 | B | | | |
| 人権教育 | 人権や差別に対する正しい見方・考え方が培われている。 | B | B いじめアンケートの結果を反映させた指導がもっと必要だ。 各教科のどこで何をするか位置づけをして取り組む必要がある。 総合的な学習の時間における人権教育取組をさらに工夫していく。 | 教師側もその都度自らを振り返り、人権に関する正しい見方ができるようにさらに取組を進めていく。 重点教材の取組については各学年で取り組んでいるが、さらに系統立てた取り組みができるよう年間指導計画の立案をしていく。 | ●読書の機会を増やし本好きになるような企画をどんどん実施してほしい。 ●防災についてのオリエンテーリングがあれば良い。 ●防犯カメラの設置等不審者対応に市内全ての学校で取り組んでいただきたい。 |
| | 自己や他者の生命や人権を大切に育てる指導が展開されている。 | B | | | |
| | 学年ごとの指導計画によって、系統的な指導が行われている。 | B | | | |
| 特別支援教育 | 特別支援教育（配慮を必要とする児童を含む）についての職員間の共通理解が、十分になされている。 | B | B 特別支援教育コーディネーターを中心に各学級での配慮を要する児童に対する指導をさらに進めていく。 香芝すまいるノートを作成することにより、一人一人に応じた指導実践を行っている。 | 職員全体で児童の実態把握の場を持つことができた。さらにより具体的な支援の目当て、その達成に向けての支援の方法を発信していきたい。 | |
| | 児童一人一人の実態に配慮した指導計画に基づき、きめ細かい指導が行われている。 | B | | | |
| 特別活動 | 特別活動の全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画を作成し、活用している。 | B | B 計画的な取組が行えている。 それぞれの学級で実態に応じた取組が行われていた。 限られた時間の中で活動するには、どうしても教師主導になってしまうことがある。 クラブ活動の時間を確保していくことが難しい。 | 新型コロナウイルス感染症が5類となり、コロナ禍以前の取組を進めることができたが、今後、児童が主体的に活動できるようにしていく必要がある。 | |
| | 児童の主体的で健全な生活態度を育成する学級活動が展開できている。 | B | | | |
| | 児童が意欲的に学校運営にかかわり、学校生活の充実と向上のための児童会活動が展開されている。 | B | | | |
| | 児童自らが楽しみ、異学年と共通の興味関心を高め合う主体性のあるクラブ活動が展開できている。 | B | | | |
| 保健体育 給食指導 | 日々の健康観察を通して、児童の様子が把握できている。 | A | B 家庭と連携し、日々の健康観察ができています。 単発的な学習になってしまうところがあった。 残食を減らすための継続的な取組が必要。 年間計画に基づく指導が行えていた。 体育的行事を通して、さらなる体力向上の取組を実施していく必要がある。 | 健康観察を通して児童の様子を把握することができた。 給食において、ここ数年残食量が増えているため残食を減らすための取組を継続的に工夫して取り組む必要がある。 体育科の年間計画をもとに取り組んでいる。各学年での取組にならないように二年を見通した系統的な学習を意識し次学年への引継ぎを行っていく。 | |
| | 各学年の年間指導計画に基づいた性教育が、年間を通して計画的に実践されている。 | B | | | |
| | 学年の発達段階や児童の実態に応じた給食指導が行われている。 | B | | | |
| | 体育科年間計画を作成し、活用している。 | A | | | |
| | 運動発表会等の体育的行事が、児童の心身の健全な発達を促すよう実施されている。 | B | | | |
| 校内・校外研修 | 校内研修の内容や計画が職員間で共通理解され、授業実践を通じた研修が行われている。 | A | B 国語科における研修を深めることができた。 職員の中で、国語科における児童の課題を共通認識できた | 今年度の成果と課題をもとに継続した取組を進めていく。 | |
| | 校外研修によって得られた内容や成果が、日々の授業実践等に生かされている。 | B | | | |

※評価はA・B・C・Dの4段階